

身ぶん

かしつと制

異級

日本でも

いろく

く

と下

向付が身？た、

それ？

て君の二とと

思いがろ

ろ

たん現存も存在する

自田平等とはう長い文句、上下関係のありや

づ^ん生きたいろ

そーて

強者と弱者も

た

強盗の争を考えるとは早い 本当は「あや子

せんか^んお金のたただけですか^しと言わなげ^いは^な

うちのそ^かい金をたせ^しとなる 密^ぎ室^{しつ}では強者

と弱者に存りやす^い

何故の世も

平等

と

いか存い私はべつにはたての料理を

まろし

ある時春にアベツのせんざりも味をい水蒸

ししくぬたのていひたひてにオコシヨウして下

さいくらくに料理もしなにくせに油をんで

いんでしよえごま油三本ありす見てく

まゆよと冷ぞう庫をひて二斗と一箱ねし

料理つべよ言つたう料理能といひすす

と出て行くた徳女はボラとアと思つて

るのた

私右定くたが動かすた際、お水たら



ボニカリ人か午~~た~~わかろ。 黒暗かろく午甲コ

ルガレイだ 存きりり工リロ乙の女阿不マ

イ~~ま~~ど何か言うと男性か。 ガラス板のようなと

こまにころか? ていり 我の体形をどうあす、思う

よろこびか^{中右}なるとか。 う又板を指して果^て作^られ

り^いに^いる。 イ^まま^まそんな声なれか。 午^まス

ルガレイにう。 とう^まり^まま^ま。 午^まマ

と細粒^ま進^まくサ^まマ^ま。 柄^まといろ^ま物^ま作^まは^ま郵^ま屋^まか

ま^まま^まま^まる。 結果^まは^ま是^まは^ま抑^まれ^ま。 午^まま^まか^ま。 午^ま

ま^まま^まま^ま。 一^まとして考^まえる^ま。 午^まま^ま。 午^ま活^ます^ま。 午^まま^ま

一^まま^まま^まま^ま

表は弱看だ、午^まだ